

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36910
事業名	施設改修等整備費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 学校施設課				
	課長名	加藤	担当者名	宮本	電話番号	011-211-3832
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	①児童生徒等の安全確保、教育施設の機能保持、学習環境の改善等を図る。 ②学校施設の非構造部材の危険性を把握する。			
		長期	①外壁、給水設備等の施設設備について、「事後保全」型管理から「予防保全」型管理へ転換を図る。 ②地震時の非構造部材による大きな被害が生じないよう予防対策を講じる。			
	取組内容	①外壁改修、屋上防水改修、受変電設備改修、給水設備改修等の大規模改修や、施設設備の破損に伴う修繕を行う。 ②学校施設の非構造部材の取付け工法や劣化状況等の確認業務の委託を行う。				
	実施結果	①必要性の高い改修、修繕を実施することで、学校施設の安全性及び教育環境の維持を図った。 ②主に南区、西区、手稲区の学校施設を対象に非構造部材の点検を実施し、当該施設の状況を把握した。				
事業実施における工夫点	劣化状況や将来計画を確認し、緊急性の高い項目を優先的に実施している。					
対象者	児童生徒等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
他都市の状況	他都市でも同様の事業を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	3,447,785	5,200,000	3,907,212	6,382,000	
うち特定財源	1,952,125	2,993,000	2,489,706	6,376,000	
人工	3.7	3.7	3.7	3.7	
人件費	26,640	26,640	26,640	26,640	
計(事業費+人件費)	3,474,425	5,226,640	3,933,852	6,408,640	
事業費の内訳	令和3年度決算	・緊急整備工事費 3,350,988千円 ・緊急整備工事監理・設計費 171,472千円 ・その他 384,752千円			
	令和4年度予算	・緊急整備工事費 4,823,866千円 ・緊急整備工事監理・設計費 365,178千円 ・その他 1,192,956千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	臨時的な改修等が含まれるため、指標設定はそぐわない			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	臨時的な改修等が含まれるため、指標設定はそぐわない			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	必要性の高い改修を実施することにより、学校施設の安全性及び教育環境の維持を図っているが、必要な改修を全て行っているわけではないため、改修をしなければならない項目が蓄積されている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	施設の老朽化が進む中、必要性の高い改修は実施しているが、その他の必要な改修項目が蓄積されている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	学校毎に施設設備の経過年数、劣化状況等を考慮したうえで改修の実施を判断しており、手法は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	B	児童生徒等の急増時に建設された施設が多く、それらの老朽化が問題となっている。施設利用者からの改修要望が増えており、必要性の高い改修は実施しているが、全てには応えられていない状況である。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	老朽化の進行への対応及び施設の安全性、教育環境の一層の向上のため、効率的な改修を行えるよう改修計画を見直ししていく必要がある。				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	施設の劣化状況に応じた改修計画の見直し		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	現行の事業規模の中で、必要性の高い改修は実施しているが、その他の必要な改修項目は残っている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 引き続き事業内容の精査を実施する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 引き続き必要な事業費を計上する。		見直し効果額	0 千円